

会 議 録

会議の名称	令和7年度第3回守谷市保健福祉審議会障がい者福祉分科会
開催日時	令和8年1月8日(木) 開会:10時 閉会:10時35分
開催場所	守谷市役所 議会棟1階 小会議室1
所管課	健幸福祉部 健幸長寿課 こども未来部 おやこ保健課
出席者	委員 小田会長、新田委員、横山委員 計3名
	事務局 こども未来部 森山部長 おやこ保健課 笠見課長、佐藤課長補佐、岡田こども療育教室長 健幸福祉部健幸長寿課 森山課長、横山課長補佐、千葉主任 計7名

審 議 経 過

(1)パブリック・コメント(守谷市手話言語条例(案))実施結果について

令和7年11月14日から12月14日までに実施したパブリック・コメントについて、意見の提出が0件であった旨報告し、パブリック・コメントでの公表案を条例最終案として保健福祉審議会に諮問する旨説明を行った。また、条例施行までの予定を説明した。

【主な意見等】

(委員)意見の提出がなかったことについてどう考えるか。

(事務局)今回の条例案作成にあたっては、当事者等関連団体と事前に内容確認等の調整を行いながら進めたこともあり、特に意見が出なかったのではないかと推察する。デフリンピックの開催もあり、関心が薄いということはないと思う。

(委員)障がいのこととなると我が事として捉えられる方がまだ少なかったということもあると思う。共生社会や包括的支援などがもっと市民に浸透するとよい。啓発、発信を行政と協力していきたい。

(2)市の役割変更に伴う公立児童発達支援事業所の終了について

子どもの発達支援の市の役割を見直し、令和10年度から、乳幼児健診から就学まで切れ目のない伴走支援を行うこと、それに伴い、こども療育教室の児童発達支援事業を令和9年度末で終了することについて報告し、変更後の市の役割(小集団活動、保育所等巡回支援、子どもの発達相談支援)について説明を行った。

【主な意見等】

(委員)伴走支援への移行の背景は。

(事務局)子どもの特性が理解されないことにより就学後のトラブルに発展するケースが増えており、幼児期の早期支援の重要性について令和5年度から検討を行った。

(委員)今後、通所サービス提供対象の児童の増加や相談支援事業所不足も課題となるので、市関係課間の横の連携を強化して欲しい。

(委員)集団生活の中での保育側の気づきがある。小集団活動で早期支援につなげられると良い。

(委員)今年度の5歳児健診モデル事業の状況は。

(事務局)公立2園で実施した。支援が必要なお子さまには定期的な観察と保護者との相談を継続実施していく。来年度は全員対象に実施することを予定している。

(3)その他

今後の分科会開催予定について説明した。